# どじょうと金魚

小川未明

青空文庫

ある日、子供がガラスのびんを手に持って、金魚をほしいといって、泣いていました。すると、通りかかったどじょう売りのおじいさんが、そのびんの中へ、どじょうを二匹いれてくれました。

子供は、喜んで、びんに顔を押しつけるようにして、ながめると、ひげをはやして、こっけいな顔に見えるどじょうは、

「坊ちゃん、あのきれいなばかしで、能のない金魚よりは、私のほうがよっぽどいいのですよ。ひとつ踊ってみせましょうか?」といって、一匹のどじょうは、びんの底から水の上まで、もんどり打って、こっけいな顔を表面へだし、またびんの底に沈みました。

子供は、いままで、どじょうをばかにしていたのは、まったく自分の考えがたりなかったのだと知りました。

「金魚よりか、あいきょうがあるし、踊りもするし、ずっとおもしろいや。」と、子供は、びんを持ち歩いて、友だちに吹聴したのです。

金魚を持っている子供は笑って、

「そんな、どじょうなんかなんだい、この金魚は高いのだぜ。」といって、相手にしませんでした。

「坊ちゃん、悲しむことはありません。まあ見ていてごらんなさい。」と、どじょうはいいました。

じめじめした、いやな天気がつづきました。生活力の乏しい金魚は、みんな弱って死んでしまったけれど、どじょうは元気でした。そして、いつでもあいきょうのある顔をして、かわるがわるびんの中で踊っていました。

# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　6」講談社
　　1977（昭和52）年4月10日第1刷
底本の親本：「未明童話集4」丸善
　　1930（昭和5）年7月
初出：「朝日新聞」
　　1928（昭和3）年5月18日
※表題は底本では、「どじょうと金魚《きんぎょ》」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：栗田美恵子
2017年4月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# どじょうと金魚

小川未明

2026年10月1日　第二版

## 奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/